



吉井勇、瀬戸内海をめぐる歌行脚の途次、牧水由縁の三浦邸を訪れる（昭和11年5月7日）
※後列向かって左から2人目が吉井勇、後列中央が三浦敏夫氏



岩城郷土館

吉井勇（1886年－1960年）東京の生まれ。歌人・小説家。亡友の歌人若山 牧水の紀行文「島三題」で語られている岩城島に興味を持ち、瀬戸内海の旅の途中、牧水の弟子である三浦 敏夫を訪ねて昭和11年5月7日に来島。牧水と同じく三浦家の水荘「聴松庵」に逗留する。三浦敏夫と酒を飲み交わしながら亡き牧水を追憶し、岩城島で一夜を過ごす。

「私の長い歌行脚の旅の中でも岩城島の一晩は、最も忘れることのできないものとなった。」
（吉井勇『相聞居随筆』昭和17年 甲鳥書林発行より）



吉井勇の歌が刻まれた歌碑（岩城郷土館）
－牧水がむかしの酒のにほひして岩城の夜は寂しかりけり－



パネル展示と資料展示



岩城郷土館ギャラリートークの様子



展示品の解説



吉井勇の旅かばん（馬越健児氏所蔵）

吉井 勇 生誕140年記念事業



岩城総合支所 2階大ホール

「5つのキーワードで読み解く -吉井勇の伯方島、若山牧水の岩城島-」



講師の細川光洋先生



講師の馬越健児先生

吉井勇が実際に使用していた旅かばんや、伯方島の光藤旅館に宿泊した際に記帳した宿帳などの展示資料に関する解説が行われ、参加者との交流や記念撮影などが行われました。

令和8年5月23日（土）、岩城総合支所2階大ホールにおいて、吉井 勇 生誕140年記念事業が開催されました。記念講演では、吉井勇研究の第一人者である静岡県立大学教授の細川光洋氏と、若山牧水しまなみ顕彰会事務局長の馬越健児氏のお二人をお招きし、「5つのキーワードで読み解く-吉井勇の伯方島、若山牧水の岩城島-」と題して対談形式でお話いただきました。記念講演の終了後、講師2名と参加者は岩城郷土館に移動し、今回特別に展示された吉井勇の資料（馬越健児氏所蔵）を見ながら、岩城郷土館ギャラリートークを実施しました。

吉井 勇 生誕140年記念事業

上島町（岩城島）で開催

主催 若山牧水しまなみ顕彰会
上島町教育委員会